



Safety Mail

● 滋賀県警察本部交通企画課 ●

県内の交通事故発生状況

《平成30年3月末現在の人身事故》

	件数	死者	傷者
本年	1,040	9	1,332
前年	1,184	8	1,499
増減	-144	+1	-167

〈高齢者の事故〉

※高齢者…65歳以上をいう



	件数	死者	傷者
本年	295	6	170
前年	327	3	189
増減	-32	+3	-19

◆新入学期における交通事故防止◆

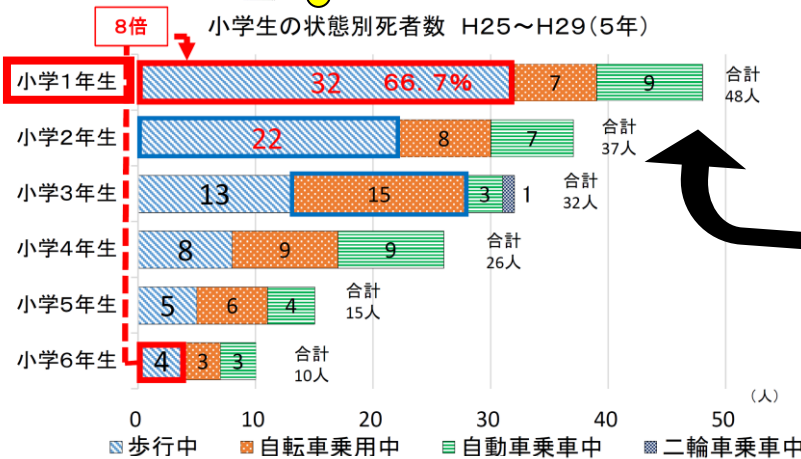
大人の方は、普段から交通ルールを遵守し、手本を示しましょう。また、運転者も歩行者も、特に子供に対する「思いやり」の気持ちを持ちましょう。

新1、2年生の子供に対しては、「横断歩道や、信号機がある交差点が近くにあるときは、交差点まで行き、信号に従って横断する、または横断歩道を横断すること、横断する前には青信号や横断歩道であっても『止まる・左右を見る・確認する』こと、横断中も左右をよくみることを教えましょう。

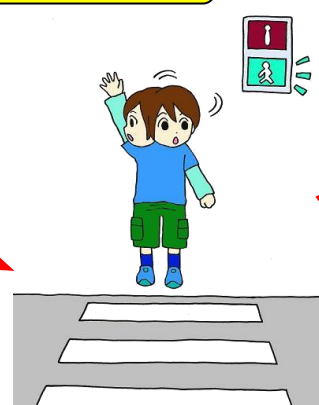


小学生の事故特徴

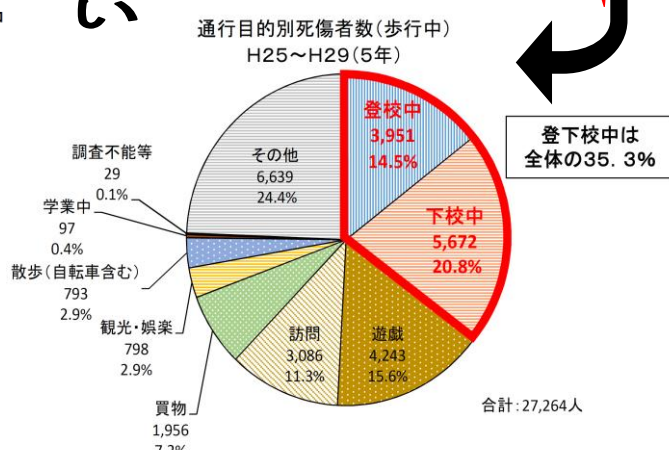
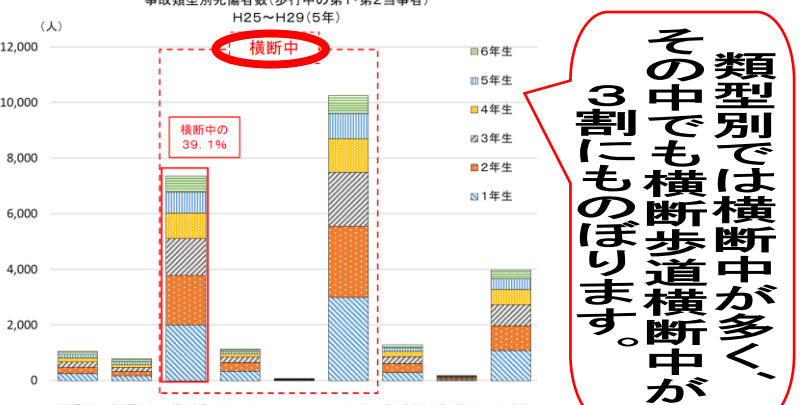
平成30年3月22日
警察庁交通局より



特に
小学
一年生
に多い



登下校時が約3割!





中学生・高校生の自転車事故特徴

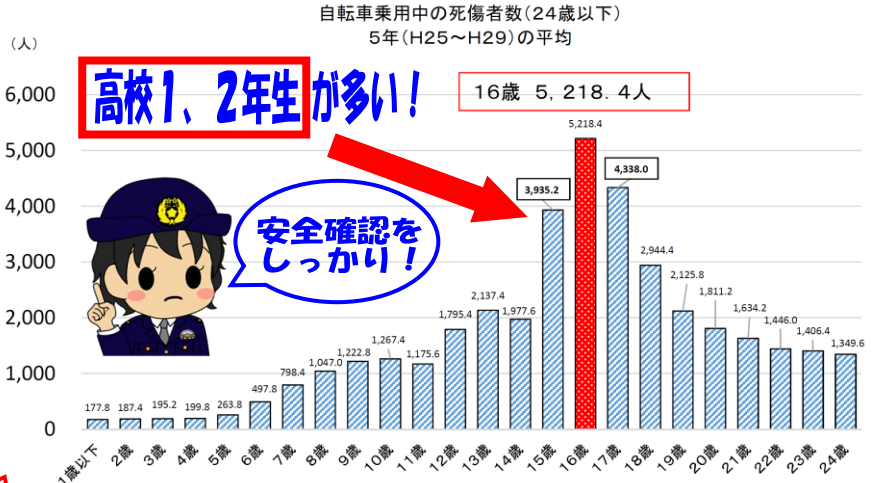
平成30年3月22日
警察庁交通局より

◆自転車は「車両」であることを教えましょう。

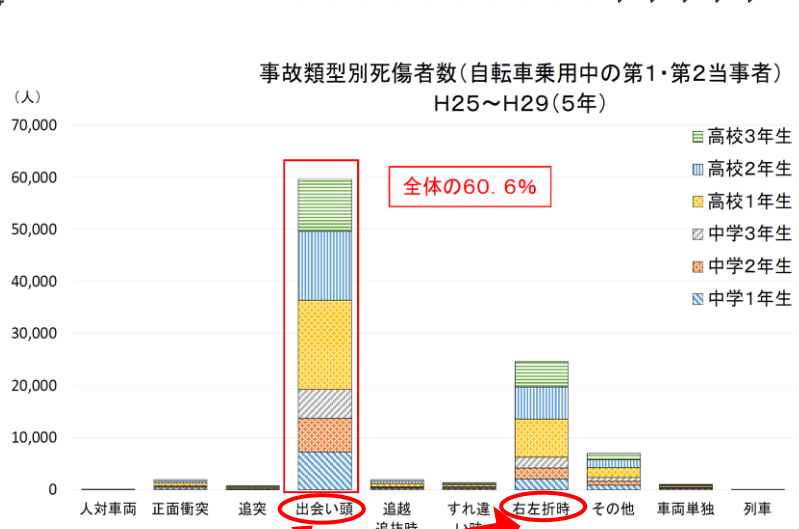
原則として車道の左側を通行し、やむを得ず歩道を通行する時は「車道寄りを徐行」するなどして歩行者を優先しましょう。

交差点では信号を守り、一時停止標識がある場合は、しっかり止まって安全確認をしましょう。

携帯電話の使用・二人乗り・イヤホン使用の運転は禁止です。



安全確認をしっかりと!



出会い頭事故が6割も!
右左折時の事故も多い!

交差点では止まる・見る・待つ!



◆ヘルメットの着用・保険加入を勧めましょう。

自転車の死亡事故で最も多いのが、頭部損傷であることから、着用の必要性を教えましょう。

歩行者との事故では、自転車が原因となることが多いため、万が一に備え、相手当事者の救済を図るために、損害賠償責任保険等への加入の必要性を周知しましょう。

事故レッドゾーン半減対策実施中!



毎年農繁期になると、農耕車の交通死亡事故が目立ちます。ハンドル操作等を誤って用水路等へ転落する**単独事故**および、公道を走行中に**追突される事故**などです。

◆交通死亡事故防止対策の3つのポイント◆

- ①安全キャブ・フレームの装着
- ②ブレーキ連結の確認
- ③低速車マークや反射板の取り付け

事業所内に掲示するなど、多くの方々にご覧いただけるようご協力ください。
TEL 077-522-1231 (代表) Eメール x0022@police.pref.shiga.jp